

○選択ワークショップ（160分×4タイトル）★マークは子ども同伴OK！

タイトル	パドリングスキル入門編 ～初心者からガイドまで日常活動に役立つスキル講座～	W I & II -①
ファシリテーター	岸 浩明 北海道グレートアドベンチャー（SUP） 松澤直紀 かのあ（カナディアンカヌー）	
内容	北海道の水辺での野外活動・体験観光等で役に立つパドリングスキルやそれに関わる基礎知識を身につけませんか？ 当プログラムではウォーターレジャー全般の導入を全体で行った後、SUP またはカヌーの実技を体験いただきます。 全くの未経験者から体験活動としてウォーターアクティビティに携わる方まで幅広い層でフィールドワークを行うプログラムとなります。	
備考	服装 ■濡れ・汚れの気にならない服装と靴 ■帽子 ■防寒着 ■かかとの固定できるサンダルまたは汚れの気にならない靴 持ち物 ■全身の着替え ■タオル	

タイトル	地図読みの基礎	W I & II -②
ファシリテーター	荒田康仁 outdoor & mountains guide TREE LIFE	
内容	地形図の読み方、使い方を座学・実践にて分かりやすく解説します。	
備考	コンパスをお持ちの方は持参してください。	

タイトル	サバイバル技術で野外を楽しむブッシュクラフト体験 ★	W III & IV -①
ファシリテーター	紀國 聡 ドリーム・ラヴァー 山口雅嗣 ルーツ・オブ・北海道 斎藤弘樹 水難学会	
内容	ブッシュクラフトという言葉は、ブッシュ（森での）＋クラフト（技能）という意味。最低限の道具と自分の技能で楽しむアウトドアスタイルをプチ体験しませんか。3人のファシリテーターが、焚き火、ロープ、シェルターなどのブッシュクラフト技術をご紹介します。	

タイトル	北海道におけるアウトドア業界の未来へ ～「育ちたい」と「育てたい」のマッチング～	W III & IV -②
ファシリテーター	鈴木悠太・松澤直紀 アウトドアユースウェーブ北海道	
内容	若手とベテランが、アウトドア業界の課題と可能性を共有し、北海道のアウトドア業界の発展のために、実現可能なアクションプランの作成を目指します。 室内でのグループワークです。	

○選択ワークショップ（80分×24タイトル） ★マークは子ども同伴OK！

タイトル	旭山動物園が考える！身近な生き物を捉え直す	WI-③
ファシリテーター	坂東 元・鈴木悠太 旭川市旭山動物園	
内容	最近ではニュースなどで見かけることの多いヒグマ、個体数が多くなりさまざまな対策がなされているエゾシカなど、身近な動物と人との関わりが大きく変革している時代にあります。 旭山動物園長坂東より動物たちの目線から人と自然との共存についての講義形式でお話するとともに、参加された方々それぞれのフィールドでの野生動物との実情を共有します。	

タイトル	いま、改めて、薪を作り、薪で食べる ★	WI-④
ファシリテーター	上田 融・八木一馬 苫東・和みの森運営協議会	WII-④
内容	みなさん、意外と薪を使った活動、やらなくなっちゃったんじゃないですか？ もう一度、原点に立ち返るべく、薪を使った活動をやりましょう。施設周辺の林を間伐します。そして、馬を使って丸太を引き出し、いろんな道具を使って薪作りをしましょう。そして、最後は美味しいものを焼いて食べましょう。簡単なBBQやスイーツを用意しています。	
備考	教材費500円かかります。 WI-④で馬搬と薪作り、WII-④で薪作りとBBQを行います。 川の対岸のからまつキャンプ場で実施します。（徒歩7分、車5分）	

タイトル	写真のモヤモヤから抜け出すために -カメラ入門編-	WI-⑤
ファシリテーター	佐藤智亮 フリーランスフォトグラファー	
内容	大自然での体験活動。いい写真が撮れたと思っても、見返してちょっと残念だったことはありませんか？ 自然体験活動で撮影する写真を“ちょっとした工夫”で印象よくするミニレクチャーを開催します。前半（座学）として、作例を使って陥りがちな失敗例や基本を紹介します。後半（実践）はスマホやコンパクトデジカメを機材として、実際に屋外で撮影し、撮影した写真を振り返ります。	
備考	スマホまたはコンパクトデジカメを持参してください。	

タイトル	クラフト+パッケージプログラム）体験 ★	WI-⑥
ファシリテーター	二杉 寿志 おたる自然の村公社 多々見ゆりか ネイバル深川	
内容	お土産にできるクラフト体験。作って完成させて終わりになってしまうことも多いですね。パッケージプログラムと組み合わせると「深く考えてほしい」「活動前の導入」などいろいろな使い方が出来ます。楽しく作品を作りながらどんなクラフトについて考えてみましょう。	

タイトル	自然体験活動指導者の更なる活躍へ向けて	WI-⑦
ファシリテーター	久保田康雄・小林孝之助 全国体験活動指導者認定委員会自然体験活動部会	
内容	自然体験活動指導者資格を取得した後、この資格をどのように活かせるかが、自然体験活動の普及促進における重要なポイントであると考えます。これは資格保持者自身が心がける部分と組織的に社会への発信や理解を求めていく部分があり、このワークショップにおいて、この資格制度の「社会的評価」を確実に高め活躍できる場面の拡張について研究します。	

タイトル	アウトドアに関する保険の基礎知識	WII-③
ファシリテーター	町頭隆児 有限会社オフィステラ	WIII-③
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・傷害保険や賠償保険など、アウトドア事業に関する保険の概要</li> <li>・どんな場合に適用される／適用されないのか</li> <li>・補償金額の設定目安は</li> </ul> についてわかりやすく解説し、疑問に答えます。	

タイトル	災害時の備えを考えることで思考停止状態に気づく ★	WⅡ-⑤
ファシリテーター	片山 誠・長江 孝 一般社団法人72時間サバイバル教育協会	WⅢ-⑤
内 容	非常用持出袋に何を入れておくかを考えるワークショップを通じて、いかに私たちが普段から様々な情報に流されて思考停止になっているかを検証します。これまでに当団体で何度か行ってきた結果として、このワークショップを経験した後は、子どもたちが用意する非常用持出袋の中身が本当に役に立つものに変化しています。そしてこのような思考停止が、皆さんの活動の中でも起こっていないかを一緒に考え、少しでも子どもたちのために意味のある野外教育を提供していくには、どうしたら良いかディスカッションしたいと思います。	
備 考	希望者にはテキストを 1,500 円で販売します。	

タイトル	「地球の基礎」地質や岩石について学ぼう	WⅡ-⑥
ファシリテーター	東 豊土 日高山脈博物館	
内 容	ガイドや野外活動を行っていて、地質や岩石について詳しくなりたいと思ったことはありませんか？このワークショップでは、自然環境の基礎とも言える地質や岩石について学ぶとともに、実際にフィールドに出て代表的な岩石の観察や同定を行います。	

タイトル	学校の自然体験サポートをもっと面白く	WⅡ-⑦
ファシリテーター	松原昇平 NPO 法人モモンガくらぶ	
内 容	座学中心の情報交換ワークショップです。学習指導要領に基づいた自然体験プログラムを企画している方、これらに興味のある方同士で体験学習の指導法を踏まえたネタやアイデアを考え、共有します。	

タイトル	弁護士ワークショップ～アウトドア事業の関連法令～	WⅢ-④
ファシリテーター	今野佑一郎・福岡宏保 NPO のための弁護士ネットワーク	WⅣ-④
内 容	弁護士による『旅行業法及び道路運送法』などアウトドア事業関連法令の解説、ここまで問われる！？『キャンプツアー・スタディツアー実施中の事故予防と事故による責任』	

タイトル	個人とグループの成長を促すアドベンチャープログラム	WⅢ-⑥
ファシリテーター	鈴木宏紀 自然考房 Nature Designing	
内 容	プロジェクトアドベンチャー（PA）や ASE に代表されるアドベンチャープログラムは、全国でプロスポーツのチームビルディングや企業研修、学校の新入生オリエンテーションなどに活用されています。一方で、北海道にはファシリテーターが少なく、導入事例も少ないのが現状です。本ワークショップでは身近な道具でできるものから、エレメントと呼ばれる器材を使ったものまで、実際にいくつかのアクティビティを体験します。その効果を感じてもらい、皆さんの現場で少しでも活用してもらえれば嬉しいです。	
備 考	野外で活動できる服装、レインウェア持参 ※小雨程度であれば野外で実施します	

タイトル	マイクロモンスターを探せ！ ★	WⅢ-⑦
ファシリテーター	小林有幹 然別湖ネイチャーセンター 斎藤彦馬 更別村ネイチャーガイド	
内 容	一見何もないような 秋や冬の森に息づいている小さな命を探す。制限時間内に 100 種類の小さなマイクロモンスター（虫）を探してみる。	

タイトル	アドベンチャートラベルとサステイナブルツーリズム	WIV-③
ファシリテーター	荒井一洋 北海道アドベンチャートラベル協議会	
内容	北海道ではアドベンチャートラベルワールドサミット(国際大会)の誘致を考えています。また観光庁では持続可能な観光推進本部を設置し、サステイナブルツーリズムを推進しています。 そこで今回は、「アドベンチャートラベラーを対象とした事業のメリットとデメリット」や、「持続可能な観光の国際基準とその必要性」について話題提供をします。その上で「自分が世界のアドベンチャートラベラーを受け入れるには、何をしたらよいか?」「その事業を環境面や経済面において持続可能にするには、何をすべきか?」を考えます。今後の事業を一緒に作って行くきっかけになるワークショップです。	

タイトル	レスキュー現場における低体温症への対応	WIV-⑤
ファシリテーター	及川 欧 旭川医科大学病院 一般社団法人 北海道ウォーターセーフティ協会	
内容	冬の野外活動で最も重大なリスクのひとつ「低体温症」 様々なレスキュー現場での経験から見た、低体温症の症例と対応について講義形式で紹介します。	

タイトル	「SDGs カードゲーム」と「世界の食卓」から地球のことを考えよう! ★	WIV-⑥
ファシリテーター	池田 誠 一般財団法人 北海道国際交流センター	
内容	SDGs カードゲーム「THE SDGs アクションカードゲーム X」と「世界の食卓」から地球のことを考えるワークショップ	

タイトル	札幌～積丹～支笏湖 経営 15 年 拠点をもちつつ毎年スタッフが集まる・自然を伝え・家族・仲間・ビジネスを成功させる秘訣。	WIV-⑦
ファシリテーター	板谷貴文 (株)オーシャンデイズ	
内容	沖縄 7 年を経て、経営 15 年個人事業～株式・合同会社の経営の仕組み・人材育成・お金の概念・お金の投資の仕方、座学中心です。	

タイトル	ガイド講座：鳥が教えてくれること、鳥を通して伝えられること	WV-①
ファシリテーター	福島 豪 BINOCOLO	
内容	鳥の声や姿だけでなく、痕跡や死体から学ぶことや伝えられることを学ぶ。またガイドどうしのコミュニケーションツールとしての役割を考えてみる。 ※座学中心のワークショップです。	

タイトル	トドマツ林のキノコ	WV-②
ファシリテーター	中嶋 潔 (株)東急リゾートサービス 自然情報室エコル	
内容	前半の 40 分で「キノコと森の関係」「なぜトドマツ林か?」についての座学を行い、後半は天候等可能であれば野外に出て、実際にトドマツ林でキノコを探してみたいと思います。	

タイトル	グローイングアップワイルド(パッケージプログラム)体験 ★	WV-③
ファシリテーター	二杉叶夢 二杉寿志 おたる自然の村公社	
内容	さまざまな依頼やプログラムの作成、アイデアや実施したい体験など、活動しているみなさん。また、これからいろいろはじめるみなさん。「まずはやってみよう」「深く考えてほしい」「活動前の導入」「企画書の作成」いろいろな使い方が出来るパッケージプログラムちょっと知ってみませんか?毎年行っているので今年はその中のグローイングアップワイルドに絞って体験しながらパッケージプログラムの使い方を考えて見ましょう。	
備考	野外での活動もあります。	

タイトル	欧米豪新の冒険旅行者に通用する Hokkaido の伝え方 ーHokkaidoWilds.org を事例にー	WV-④
ファシリテーター	ロバート・トムソン HokkaidoWilds.org / 北星学園大学	
内容	海外では北海道の山スキーをはじめ、自転車ツーリング、登山などのアウトドアに対する認知度は急に増えている。こうした認知を最大に活かすために、本ワークショップでは、デジタルメディアを利用したプロモーションや安全管理などを、北海道のアウトドアを英語で紹介する HokkaidoWilds.org を事例に講義やディスカッションで考えていく。	

タイトル	ガイドのための「働き方改革」を考えよう！ ～この仕事を、「仕事」とし続けるために～	WV-⑤
ファシリテーター	鈴木利典 株式会社ベースブレンワーク	
内容	あなたのガイドは「仕事」ですか？ 世の中で聞かれる「働き方改革」という言葉は、ガイドの皆さんにも決して他人事ではないはず。このワークショップでは、ガイドの働き方と諸事情を改めて振り返り、アウトドアガイドというお仕事が将来に続いてくために大事なこと・必要なことを、参加者みんなで考えてみます。	

タイトル	学校が自然体験の扉を開くために ～ふるさと教育につながる自然体験とは～	WV-⑥
ファシリテーター	阿部隆之 厚真町立厚真中学校	
内容	学校と自然体験をつなげるためのアイデアづくり ・学習指導要領等で学校における自然体験の重要性や社会に開かれた教育課程の必要性が示されている中、北海道内における取組状況を確認します。 ・近年注目されているふるさと教育を例にとり、教職員の関心や意欲を高め、学校で活用できる自然体験プログラムの在り方を探ります。	

タイトル	アウトドア×地方議員 もし、あなたが、政治の現場にいたら？	WV-⑦
ファシリテーター	広田まゆみ 北海道議会	
内容	昨年のアウトドアフォーラムでアウトドア人材の育成や、アウトドア事業推進のために、アウトドア議員連盟の設立を展望しました。今回は、まず、実際にアウトドア事業の現場を経験して、政治の現場にいる人の話を聞きます。さらに、アウトドア事業推進のための政策課題の洗い出しを行います。 最初の一歩です。お気軽にご参加ください。	

### **参加申込み・ワークショップ選択希望**

選択ワークショップについては、参加申込と同時に選択希望を受け付け、定員に達した内容から締め切ります。7 ページ以降の発表要旨をお読みにになり、ウェブサイトの申込フォームにて選択してください。※160分のワークショップについては、必ず2枠続けて選択してください。

**参加申込・選択期限 10/25 (金) まで**

URL : <https://www.niye.go.jp/entry/app/event/apply/2538/>

※ 期限を過ぎると申込フォームからは選択できません。

※ 期限以降のワークショップの選択は、空き状況に応じて当日受け付けます。